



NEC Expressサーバ・ワークステーション Express5800シリーズ

Array Recovery Tool

インストレーションガイド

ONL-043-COMMON-013-99-9910

#### 商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。 EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。 Microsoftとそのロゴおよび、Windows、Windows NT、MS、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国にお ける登録商標です。 Mylexは米国Mylex Corporationの登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 3.51/4.0の略称です。 Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。 Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

# はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズサーバ・ワークステーションをお買い求めいただき、 まことにありがとうございます。

Express5800シリーズサーバ・ワークステーションに添付されている「Array Recovery Tool」は、 本体が持つ機能をさらに拡張しクライアントサーバシステムでの信頼性を強化するものです。

本書では、Array Recovery Toolを導入するにあたり必要となるセットアップの手順について説 明します。

本書は、Windows NTの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明していま す。Windows NTに関する操作や不明点についてはオンラインヘルプや添付のマニュアルなどを 参照してください。

#### 本文中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。



ユーティリティや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき 点を示します。





知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

### ソフトウェア使用条件

添付のCD-ROM内のソフトウェアを使用するにあたって、添付のソフトウェアのご使用条件をお 読みになり、その内容についてご確認ならびにご承諾ください。

#### ユーザーサポートについて

ソフトウェアに関する不明点や問い合わせは別冊の「ユーザーズガイド」に記載されている保守サー ビスセンターへご連絡ください。また、インターネットを使った情報サービスも行っておりますの でご利用ください。

http://www.express.nec.co.jp/

Express5800仮想店舗<sup>®</sup>58番街』:製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載!

http://www.nefs.co.jp/

NECフィールドサービス(株)ホームページ:メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。



Array Recovery Toolは、Mylexディスクアレイコントローラに接続されているハードディスクの 状態を監視し、不良ハードディスク(DEAD状態)を検出すると自動的にリビルド、整合性チェック を行い、システムドライブを復旧します。

# 2 インストールの前に

ここでは、Array Recovery Toolをインストールする前に知っておいていただきたい事柄につい て説明します。

### 2.1 動作環境

Array Recovery Toolが動作するために必要な動作環境について説明します。

- ・ ハードウェア
  - 本体 : Mylexディスクアレイシステムを構築している Express5800/50、100、600シリーズ装置
  - メモリ : OSの動作に必要なメモリ + 1MB
  - ハードディスクの空き容量: 1MB以上

ただし、Express5800/130、140、150では本体サーバの仕様によりハードディスクが DEADとなった場合ハードディスクに対する電源供給を遮断するため、Array Recovery ToolにおけるRAID再構築(リビルド)、およびRAIDシステムの整合性チェック (Consistency Check )は動作しません。

- ソフトウェア
  - Microsoft Windows NT 4.0 SP3以降
  - Microsoft Windows NT 3.51 SP4以降



- Array Recovery Toolが動作するためには、ディスクアレイコントローラのSCSIド ライバ(DACドライバ: dac960nt.sys)がシステムに組み込まれている必要があり ます。また、DACドライバVer.5.xx使用時は、Global Array Managerに同梱され ているGAMドライバ(gamdrv.sys)たシステムに組み込まれている必要があります。 (GAMドライバの組み込みは、ユーザーズガイド、またはGlobal Array Manager のオンラインドキュメントを参照してください。)
- Windows NT 3.51のサポートは、DACドライバVer.4.10使用時のみです(DACドライバVer.5.xxは、Windows NT 3.51をサポートしていません)。

## 2.2 監視対象となるアレイコントローラ

#### Array Recovery Toolがサポートするアレイコントローラは次のとおりです。

Controller model	NEC型番	ESMPRO対応状況	DAC driver	本Service サポート
DAC960P	N8503-03	€SM1.0 ~ ESM1.2	1	1
DAC960P	N8503-08	ESM/SM1.2 ESM/SM2.1 ESMPRO/SA2.6		
DAC960PL	N8503-11			
DAC960PDU	N8503-12	↑	4.10	
DAC960PG	N8503-19 (4MB SIMM -100)	ESMPRO/SA3.0 ESMPRO/SA3.1		
DAC960PG	N8503-28 (32MB SIMM - IOSV)	ESMPRO/SA3.2 ~		
DAC960PJ	N8503-36			
DAC960PJ	N8503-36A			
ROME(2CH)	N8503-18	↓ ↓	↓	
DAC960PTL1	N8503-44		5 XY	
DAC1164P	N8503-43		5.88	
DAC1164P	N8503-49	↓	↓	↓

## 2.3 ESMPRO**のサポート範囲**

ESMバージョンによる通報連携の対応は次のとおりです。

ESMバージョン	通報連携可否
ESM 1.0	×
ESM 1.0	×
ESM 1.2	×
ESM/ServerManager Ver1.0 エージェント	
ESM/ServerManager Ver2.0 エージェント	
ESM/ServerManager Ver2.1 エージェント	
ESMPRO/ServerAgent Ver2.6	
ESMPRO/ServerAgent Ver3.0	
ESMPRO/ServerAgent Ver3.1	
ESMPRO/ServerAgent Ver3.2	
ESMPRO/ServerAgent Ver3.3	
ESMPRO/ServerAgent Ver3.4	



Array Recovery Toolのインストールでは、Array Recovery Toolのファイルのインストールと 環境設定を行います。

### ファイルのインストールと環境設定

Array Recovery Toolのインストールは、本体添付のCD-ROM<sup>r</sup> EXPRESSBUILDER」を使用して 行います。次の手順に従ってArray Recovery Toolのファイルのインストールと環境設定を行い ます。

- 1 装置本体の電源をONにして、Windows NTを起動する。
- 2 CD-ROM<sup>r</sup> EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが表示されます。

- マスターコントロールメニュー上で右クリックしてもメニューが表示されます。
- 表示された「マスターコントロールメニュー」を閉じるには、[終了]をクリックします。



既にArray Recovery Toolがインストールされていて再度インストールする場合、シ ステムにインストールされているArray Recovery Toolをアンインストールしてから 行ってください。アンインストールの方法については「4項 アンインストール」を参照し てください。

3 [3rd [ESMPRO)をクリックする。

ESMPROセットアップのメインメ ニュー画面が表示されます。

4 [関連ユーティリティのメニューへ を クリックする。

> [ 関連ユーティリティのメニュー )ダイ アログボックスが表示されます。



5 [Array Recovery Tool をクリック する。

> Array Recovery Toolのインストーラ を起動すると動作準備状況を右の [セットアップ ダイアログボックスで 表示し、[ようこそ]ダイアログボック スが表示されます。



6 [次へ」ボタンをクリックする。

[Array Recovery Tool機能概要 ダイ アログボックスが表示されます。  
 マロン
 スャイキャ Recovery Tool セットアン、アロンはんよう こそ。このアロン、は、オビュールに、ホャッ Recovery Tool を小アン、アロン、ホーマッ Recovery Tool をパルトします。

 このもっトアン、アロン、大変指する前に、すべての いたを走す銘「こしてき」、。

 このもっトアン、アロン、大変相互もない。

 「サンドは、ガビュール」、オペての いた、などする「こしてき」、

 「サンドは、ガビュール」、大へての いた、活動を力がないたいできる。

 「サンドは、ガビーン」、

 「サンドは、ガビーン」、

 「サンドは、「サンド」、

 「サンド」を必ずする「たく、、現在使用中の いた、また」で、

 「サンド」をかった、

 「サンド」をかった、

 「サンド」をなり、

 「サンド」をなり、



[ログファイル作成フォルダの指定 ]ダ イアログボックスが表示されます。



8 インストール先フォルダを指定して、 [次へ ボタンをクリックする。

> インストール先フォルダを変更する場 合は、[参照]がタンをクリックして フォルダを指定します。



インストール先フォルダは、容 量の問題がない限りデフォルト 値の設定で問題ありません。

[ファイルコピーの開始]ダイアログ ボックスが表示されます。





[ 次へ 」ボタンをクリックする。

インストーラがファイルのインストー ルと環境設定を行った後、[セット アップの完了]ダイアログボックスが 表示されます。

アルの北、を開始するための情報はたの通りで を確認し、変更が必要な場合は、[戻る]をかっ 現在の設定の主まで良い場合は、[次へ]をかっ アッルのエーを開始します。	す。設定 します。 すると
現在の設定	
Array Recovery Toolのパージョン: 1.00	4
インストール先フォルダ: C:¥Program Files¥Array Recovery Tool	
	v
	>
_ < 戻る(8) [次へ(10) > ]	キャンセル





「はい、直ちにコンピュータを 再起動します。」のデフォルト 値のまま[終了」ボタンをクリッ クすることにより、システムが 再立ち上げされ、自動的にArray Recovery Toolの監視サービ ス(Array Recovery Service )が 起動されます。

トアッブの完了	
	Array Recovery Tool を開始するためには、コル'ュータを再 起動する必要があります。
	<ul> <li>□まい、直ちにコンビューウを再起動します。</li> <li>○ いいえ、後でコンビューウを再起動します。</li> </ul>
	CD-ROMドイブから CD-ROM を取り出し、【終了】を勿め して、もがつごを終了します。
	《 戻ろ@ 終7

以上でArray Recovery Toolのインストールは終了です。

### 4 アンインストール

Array Recovery Toolのアンインストールでは、Array Recovery Toolのファイルの削除と環境 設定の解除を行います。

#### ファイルの削除と環境設定の解除

次の手順に従って、Array Recovery Toolをアンインストールします。アンインストーラの起動 方法は、Windows NT 3.51とWindows NT 4.0では異なります。

1 アンインストーラを起動する。

< Windows NT 3.51の場合>

[Array Recovery Too(共通)ウィ ンドウから[Uninstall Array Recovery Tool を選択し、ダブルク リックする。

アンインストーラが起動し、[ファイ ル削除の確認]ダイアログボックスが 表示されます。

<Windows NT 4.0の場合>

[ コントロールパネル ウィンドウから [ アプリケーションの追加と削除 を選 択し、ダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプ ロパティ )ダイアログボックスが表示 されます。





[Array Recovery Tool を選択し、 [追加と削除 ボタンをクリックする。

アンインストーラが起動し、[ファイ ル削除の確認]ダイアログボックスが 表示されます。

ソストールと	(削除) Wind	ows NT セットアッフ <sup>。</sup>	1		
<b>3</b>	フロッピュー テ インストール	シスクまたは CD-F するには、「インストー	ROM から新し 小I をかっし	ル・アフリケージ てください。	ョンを
				インストー	₩Q
3	次のソフト たり、その と削除しる	ウェアは自動的に削 )構成ファイルを変更 5クリックしてください	除できます。 するには、- ①	アブリケーション ー覧から遅ん	を削除し ,で[追加
Adobe	Acrobat Rea	der 3.0J			-
Adobe / Adobe   Array   Data Ar	Acrobat Rea Photoshop 5. ecovery Too	der 3.0 J 0 J I ≤ (DAO) 3.5			<b>_</b>
Adobe Adobe Data Ar FTP Ex McAfee MGA N Microso	Acrobat Rea Photoshop 5. cooses Object plorer VirusScan v T PowerDesk ft Chat 2.0 ft Chat 2.0	der 3.0J 0J 11 (* (DAO) 3.5 (3.1.4 (ライセンス版) く 3.20.055 2 98			
Adobe Adobe Data Au FTP Ex McAfee MGA N Microso Microso Microso	Acrobat Rea Photoshop 5. Geovery Too plorer VirusScan v VirusScan v T PowerDesl ft Chat 20 ft FrontPage ft FrontPage	der 30J 0J 15 (DAO) 35 /31.4 (ライセンス版) < 320055 2 98 8 Express			▲ ● ■ ■

2 [はい」ボタンをクリックする。

[コンピュータからプログラムを削除] ダイアログボックスが表示されます。





Windows NT 4.0上でアンインストーラを起動する場合、[コントロールパネル]ウィンドウを閉じてから[はい]ボタンをクリックしてください。[コントロールパネル]ウィンドウが開いたままだと[コントロールパネル]で使用しているArray Recovery Toolの一部のファイルが削除されません。

3 「アンインストールが完了しました。」 が表示された後、[OK]ボタンをク リックする。



以上でArray Recovery Toolのアンインストールは終了です。